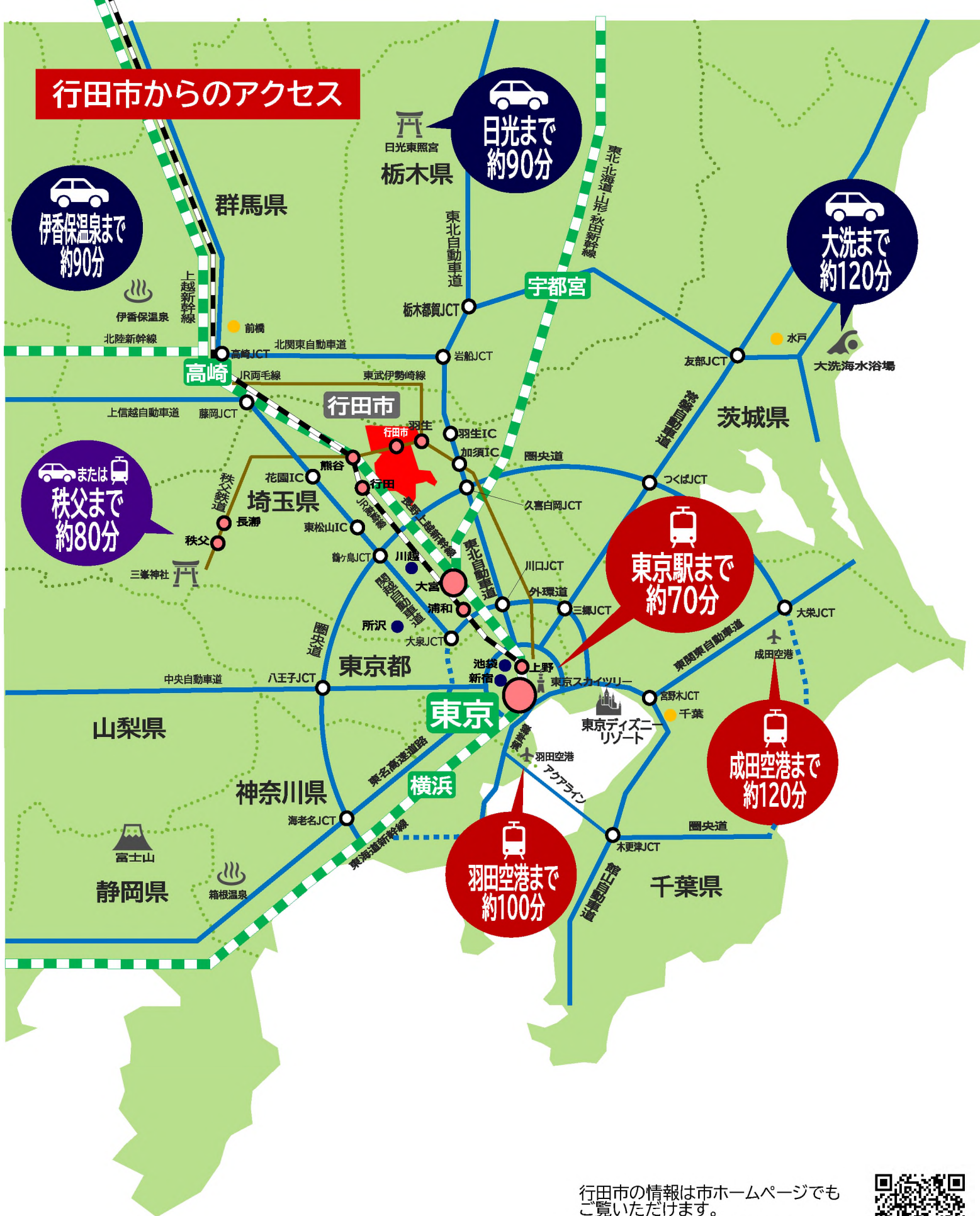


行田市からのアクセス



行田市の情報は市ホームページでも
ご覧いただけます。
右の二次元コードを読み取って、ぜひ
チェックしてみてください。



発行／行田市総合政策部企画政策課 電話番号：048-556-1111(代表) 〒361-8601 埼玉県行田市本丸2番5号
メールアドレス：iju@city.gyoda.lg.jp



行田で暮らす。

歴史あるまち埼玉県行田市で
“ほどよい田舎暮らし”をしてみませんか？



2025

行田市移住定住パンフレット



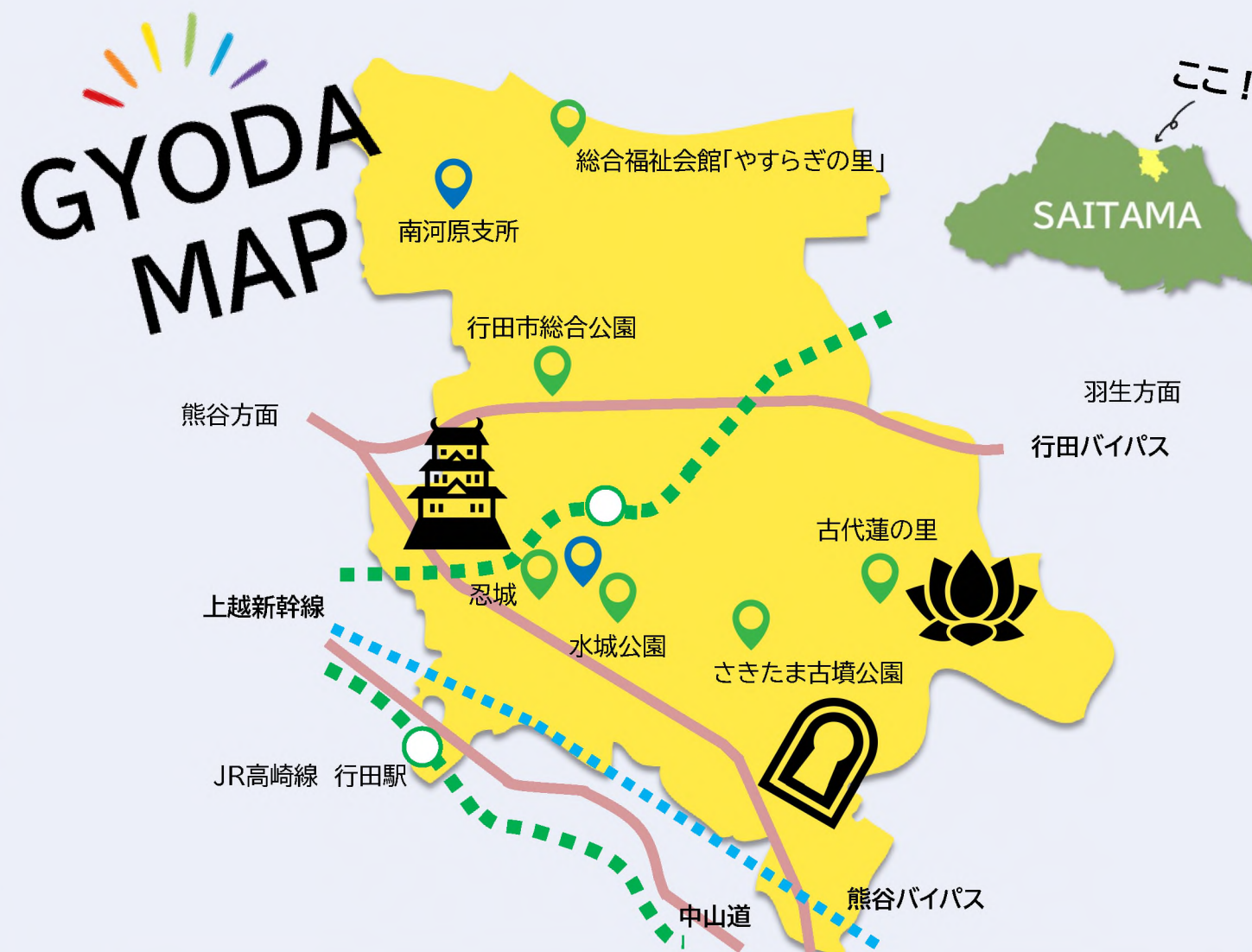
歴史あるまち行田で “ほどよい田舎暮らし”をする

行田市は、埼玉県北部に位置し、北に利根川、南に荒川という二大河川に挟まれ、肥沃な平野部とどこかな田園風景が広がる水と緑に恵まれたまちです。

埼玉県名発祥の地である行田市は、かつての足袋産業の隆盛を物語る「足袋蔵」など2017年に県内初となる日本遺産に認定され、2020年には9基の大型古墳からなる「埼玉古墳群」が東日本では初となる国の特別史跡に指定・登録された、豊かな自然と歴史が息づくまちです。

また、水田に複数の色の稲を植えて絵を描く「田んぼアート」は、2015年に「世界最大の田んぼアート」としてギネス世界記録™に認定され、現在も国内外より注目を集めています。

この歴史と自然を全身に感じられるまち行田で、あなたも“ほどよい田舎暮らし”をしてみませんか？



交通アクセス 通勤やレジャーに便利



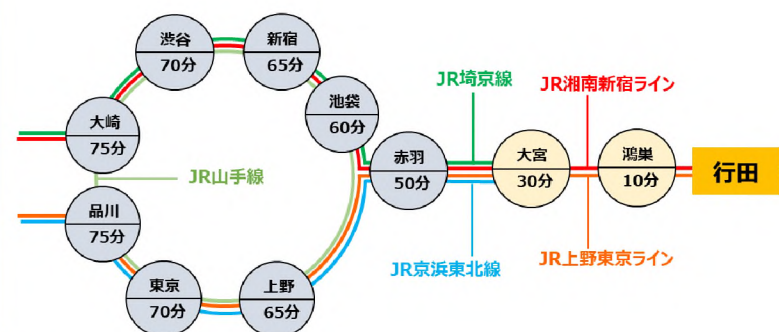
東北自動車道、関越自動車道、圏央道(首都圏中央自動車道)の各インターチェンジへのアクセスも可能です。
また、東京都心から電車で約70分圏内、さいたま市から約30分圏内にあり、通勤・通学やレジャーにも便利な立地です。

自動車

- ・東北自動車道 羽生インターから 約14km、約30分
加須インターから 約17km、約35分
- ・関越自動車道 花園インターから 約22km、約40分
東松山インターから 約22km、約40分
- ・圏央道 桶川加納インターから約20km、約40分

鉄道

- ・高崎線上野東京ライン経由で東京駅まで約70分
- ・高崎線湘南新宿ライン経由で渋谷駅まで約70分





ぎょうだ 丸わかりガイド



人口:77,438人



世帯数:36,586世帯



面積:67.49km²

令和7年8月1日現在



市の木 イチョウ



市の花 キク



市の花 行田蓮(古代蓮)

住宅

家賃の差は歴然！県内と比較してお得に住めます

「住みたい街ランキング」上位のさいたま市大宮区と比べると家賃の差は歴然です。同じ家賃で広めの家にゆったりと暮らすことができます。都内までJR線1本で通勤も可能で、利便性も高いです。

地価

(1坪当たり)

行田市 10.9万円
大宮区 126.6万円 千代田区 908.2万円

住宅地の地価(1坪当たり)は、県内と比べても格段に安価であり、行田市に住めばマイホームの購入にも手が届きやすくなります。広い敷地にこだわりの住宅を建て、お子さんと遊ぶ、庭でバーベキューを楽しむ、趣味に没頭するなど自由で充実した生活も夢ではありません。

医療

病院・医院は市内に30施設あり、そのうち、総合病院が2施設あります。老若男女問わず、安心して生活が送れます。

防災

災害に備えて準備できることや災害が発生したときの行動をまとめた「行田市防災ガイドブック」を、市役所危機管理課で配布しています。また地域の防災リーダーである「防災士」の資格取得支援を行うなど、防災に力を入れています。さらに、地域を見守る「自主防災組織」への加入率も77.2%と高く、地域で防災に取り組んでいます。



病院・医院数	歯科医院数	薬局数
30施設	42施設	33箇所
(令和7年4月1日時点)		
防災士の人数 (市内在住者)	自主防災組織 加入率	災害用消防戸
330人	77.2%	96箇所 (県内最多)
(令和7年7月末時点)		



行田市の防災に関する情報は、左の二次元コードからご覧ください。



気候

平均気温は、年間を通して東京都とあまり変わりません。夏は暑さが厳しいまちですが、冬になると晴れの日が多く、暖かさを感じられ、雪はあまり降らず穏やかな気候に恵まれた地域です。

行田市と東京都の日照時間と降水量を比較



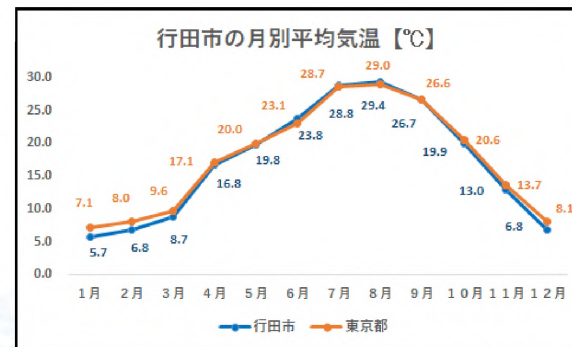
日照時間

行田市 2278.1時間
東京都 2100.2時間



降水量

行田市 1213.5ミリ
東京都 1926.0ミリ



(気象庁統計より)



公園

市内には、地区の公園だけでなく「水城公園」、総合公園、「古代蓮の里」、「さきたま古墳公園」といった大きな公園があり、子育て世帯も安心して利用できます。また、市民の憩いの場となっている水城公園内の「じゃぶじゃぶ池」では、夏になると大勢の子どもたちが水遊びを楽しんでいます。



グルメ

かつて足袋生産の全盛期に、足袋職人のおやつとして定着したのが「フライ」と「ゼリーフライ」です。文化庁の「百年フード」にも選ばれ、行田市民のソウルフードとして親しまれています。



市公式マスコットキャラクター「フラベえ」(左)と「こぜにちゃん」(右)



行田市民の
ソウルフード

行田市移住定住コンシェルジュに聞く！

移住相談Q&A

Q:スーパーやコンビニなど買い物には困りませんか？

A:市内には、あわせて約40店のスーパー、コンビニ、ドラッグストアがあり、日々の買い物に困ることはありませんよ。車を使わず、徒歩や自転車で行き物をする方も多く、食品、日用品、雑貨など、生活に必要なものは、近場で全てそろいます。

Q:車がなくても生活できますか？

A:できますよ。行田市では「マイカーだけに頼らない社会」の実現を目指して、令和7年1月から乗合型AIオンデマンド交通を運行開始しました(有料、要利用者登録)。また、日本版ライドシェアやシェアサイクルもあり、車がなくても安心です。



「うきしろ号」
AIを活用し利用者の予約に応じた効率的な配車により市内全域を運行します(有料)。

Q:雪は積もりますか？

A:ほとんど積もりませんよ。行田市は利根川と荒川に挟まれた沖積平野であり、冬季は積雪する年もありますが、日数・量ともに少ないといえます。

Q:市民活動やクラブはありますか？

A:行田市には60団体以上のさまざまな市民団体があります。活動されている皆さんの交流促進や、これから活動始める皆さんの活動拠点などとして、「市民活動サポートセンター」も設置していますよ。

Q:ペットと一緒に快適に暮らせますか？

A:暮らせます。市内にはドッグランやペット同伴可能なレストランもあり、ペットに優しいまちです。大きなわんちゃんが飼い主さんと楽しそうにお散歩する姿を見かけるのも珍しくないですよ！



行田で育てる

ポイント
1

妊娠前から子育て期まで
切れ目のない支援を行います

妊娠・出産期のご家庭が安心して生活できるよう、妊婦等包括相談支援事業※1で経済的な支援を行うとともに、行田市こども家庭センターによる伴走型相談支援も一体的に行っています。

さらに、お子さんに関する医療費(外来、入院いずれも保険適用に限る)は、18歳まで※2無料です。

※1 出産応援給付金:妊婦1人につき50,000円

※1 子育て応援給付金:出生した子ども1人につき50,000円

※2 18歳に達する日以降最初の3月31日

行田市は待機児童ゼロ！(令和7年4月1日現在)

赤ちゃんコンシェルジュ(助産師)と保育コンシェルジュが対応します！

妊娠中の生活や出産、産後のこと、保育サービスの情報や保育所への入所手続きなど、不安なことはなんでもご相談ください。



PICK UP

ポイント
2

保護者が安心してお子さんを預けられます

行田市では、国の幼児教室、保育の無償化制度に加えて、子育て世帯の負担を軽減するため、所得制限のない「3歳未満児保育料無償化」を実施しています。また、保育所等を利用せずに子育てしている家庭の負担を軽減するため、生後6か月～3歳未満の未就園児が月10時間まで通園できる「こども誰でも通園制度」※3を実施するなど、保護者が安心してお子さんを預けられる体制を整えています。

※3 子ども1人1時間当たり300円

保育データ(令和7年6月1日時点)

保育園	認定こども園
11箇所	2箇所
地域型保育事業	幼稚園
5箇所	6箇所



行田市こども家庭センター(愛称:おしのこ)



行田で学ぶ

ポイント
3

充実した外国語教育で
グローバル人材を育成します

ALT(外国語指導助手)を小中学校に配置し、英語コミュニケーション能力や国際感覚の育成に取り組んでいます。また、全ての幼稚園に外国語指導員を派遣し、年少(4歳)からの英語学習を推進することで、英語の好きな子どもの育成に取り組んでいます。

学校データ(令和7年6月1日時点)

小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	専門学校 大学
12校	8校	1校	1校	2校

ポイント
4

普段の学校生活で経験できないことを
学ぶことができます

大学教授や各分野のプロフェッショナルが講師となり、子どもの知的好奇心を刺激する授業を行う「子ども大学ぎょうだ」を開校しています。また、児童の放課後の居場所づくりとして、「放課後子ども教室」を開設しており、地域の方々や異学年同士で交流を図りながら、昔遊びやものづくりなどを行い、楽しく活動しています。

ポイント
5

児童・生徒に対してきめ細かな
支援をしています

幼児や児童の望ましい発達を支援する、早期療育「ステップ教室」や小中学校の特別支援学級などで学校生活を支援する「きらきらサポーター」の配置など、きめ細かな支援を行っています。また、児童・生徒の学力向上のため、小中学校に独自の支援員を配置しています。



AI英語授業の様子

子育て応援カレンダー

妊娠前

妊娠期

出生～就学前

小学生・中学生

高校生・大学生

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳～
助成	● 不妊治療費助成 ● 不妊・不育症検査費助成 ● 多胎妊婦健康診査費用助成事業(新規) ● 母子手帳配布 ● 母子手帳アプリ導入(新規)	● 3歳未満児保育料無償化事業 ● おうち子育て支援事業 ● 1カ月児健康診査助成事業(新規)	● 乳幼児健診・各種予防接種 ● 子ども医療費助成事業(0歳～18歳)	● こども誰でも通園制度 ● 未就園0・1・2歳児保護者への旧忍町信用組合店舗内カフェ利用券配布				● 就学援助費(小学校・中学校)											● 奨学資金(高校)・入学準備資金貸付(高校・大学)
交流	● 妊婦等包括相談支援事業 ● ママ・パパ教室	● ブックスタート、離乳食教室(1歳未満) ● 子育て談話室 ● つどいの広場 ● 地域子育て支援センター(就学前の親子)																	
相談	● こども家庭センター(妊娠中～18歳未満) ● 赤ちゃん訪問 ● 乳幼児相談(0歳～小学校就学前)																		
預ける		● こそだて応援訪問事業(0歳～小学校就学前) ● 保育園(0歳～小学校就学前) ● ファミリー・サポート・センター(6カ月～12歳) ● 病児・病後児保育(0歳～12歳) ● 子育て短期支援事業(ショートステイ・トワイライトステイ)						● こども家庭相談 ● 学童保育室											

つどいの広場をご利用ください

おおむね3歳未満のお子さんと保護者の方が自由に遊び、他の親子と交流できる「つどいの広場」が市内5箇所にあります。



「キッズプラザあおい」

就学前のお子さんとその保護者が気軽に遊び、集える公園併設型の地域子育て支援拠点です。小さなお子さんが楽しく遊べる遊具を設置しているほか、専門知識をもったスタッフが子育てに関する様々な相談に応じます。



ふわふわドームが大人気

プレコンセプションケア

未就学期から成人期まで、一生涯の健康づくりに取り組むための普及啓発を行っています。年代に応じた研修会など、様々な取り組みを実施しています。一生涯を通じた取り組みとしては県内初です。



PICK UP



「行田市子育てガイドブック」の情報は左の二次元コードからご確認ください。

行田で働く

行田では、起業を考えている方や、就職に向けて資格の取得を目指す方を後押しする制度があります。制度を活用し、夢の実現を目指してみませんか。

ポイント 6 空き店舗で起業される方を応援します

空き店舗などを賃借して新たに事業を開始される方へ、設備や備品購入費、宣伝費及び出店時の改修費用の一部を補助しています。
飲食店や理髪店など、さまざまな業種の方に活用され、好評を得ています。

補助金額

- 空き店舗等改修助成：上限500,000円
- 空き店舗等運営助成：上限500,000円



ポイント 7 就職するために必要な公的資格の取得費用を補助します

就職するために必要な資格取得費用の一部(求職者向け)や従業員が業務に必要な資格を取得した場合にかかる費用の一部を補助しています。
公的資格の取得を促進することで、仕事の選択肢を拡充し、自分らしい働き方を応援します。

対象

- 行田市民でハローワークを通して就職活動をしている65歳未満の方(離職者、非正規雇用者が対象)

補助金額

- 補助対象経費の2分の1(最大5万円)



行田に移住してきた働く若者を応援します！ 奨学金返還支援金制度

新たに行田市に移住してきた30歳以下の方を対象に、奨学金返還支援金を交付します。

支援対象

- 以下の全ての要件を満たした方
- 申請年度中において、支援対象となる奨学金を返還されている方
 - 令和6年2月1日以降、新たに本市に住民登録された方
 - 申請時に属する年度末日時点において30歳以下の方
 - 申請日から3年を超えて本市に居住する意思を有する方
 - 就業している方(就業先は市内・市外問いません)
 - 本市アンケートなどに協力いただける方

支援金額・期間

- 行田市に住民登録をして以降、申請年度において返還した奨学金の額の2分の1(上限年12万円)
- 最大3年間支援します



奨学金返還支援に関する最新情報は、左の二次元コードからご確認ください。

行田で就農する

行田は、二大河川に囲まれた肥沃な土地で温暖で日照時間も多い場所です。農作業に最適な行田市で農ある暮らしをしてみませんか。

ポイント 8 新規就農希望者を応援しています

新規就農1年目に実際に必要となる費用は、**平均896万円です**(全国新規就農相談センター「令和6年度新規就農者の就農実態に関する調査結果」より)。この費用を全額自己資金で調達するのが難しい方には、市の新規就農者の確保やスマート農業技術の導入等を支援することを目的とした補助制度がありますので、ご活用ください。

市では、新規就農・経営継承の相談を随時受け付けています。

農産物等病害虫防除対策費補助

病害虫による農産物への被害防止のための薬剤購入や空中散布等に係る経費の一部を補助します。



ポイント 9 地産地消を応援しています！



行田市は県内有数の米と麦の生産地ですが、野菜や花き栽培も盛んな地域です。
また、行田では地元で生産したものを地元で消費する「地産地消」の取り組みを推進しています。野菜などの農産物は市内各所の農産物直売所の他、毎週日曜日に開催される「行田はちまんマルシェ」では新鮮な農産物や加工品をお客様と交流を図りながら、直接販売することができます。

ぎょうだ農業DATA



総農家数 1,474戸
農業従事者 2,037人
令和6年度「統計ぎょうだ」より



作付面積 1,820ha
収穫量 8,740t
令和6年度「作物統計調査」より



作付面積 826ha
収穫量 3,344t
令和6年度「作物統計調査」より

農産物特産品

行田の農産物の特産品は、**行田在来青大豆**です

行田在来青大豆は、古くから行田地域のあぜ道などで栽培されていた大豆の在来品種で、畑でも感じるほどの甘く豊かな香りと味が特徴で、1年間のうち、わずか20日間程度しか収穫されない貴重なものです。現在では、「香り、甘さ、鮮やかな



緑色」を活かし行田在来枝豆「さきたまめ」というブランドで販売しています。さらには、生産者で「行田豆吉クラブ」を結成し、品質向上や産地拡大などを目指して活動しています。行田に移住して農業を始める方は、同クラブに加入してプレミアムな行田在来青大豆と一緒に栽培してみませんか？



行田在来青大豆キャラクター「行田豆吉」

先輩移住者の声



Q1 移住されたきっかけは何ですか？
古くからの友人が行田市に居住しており、子育て施策が充実していると聞いて、興味を持ちました。夫の実家がある深谷市と迷いましたが、鉄道を使った通勤のしやすさもあり、行田を選びました。

Q2 実際に住んでみて、行田の住み心地はいかがですか？
やはり保育料が無料なのは非常に助かります。また、前に住んでいたところは少し買い物に行くにも車が必要でしたが、行田では徒歩圏内にスーパーマーケットやドラッグストアも多く、買い物にも困りません。なにより、近隣の皆さんも子育て世帯が多く、ママ友もたくさんできました。



渡辺さんご夫婦

(夫) 埼玉県深谷市出身。20代。大学卒業後、群馬県伊勢崎市で就職。その後、お子さんが生まれたのをきっかけに2024年2月に行田市に転入。現在は埼玉県熊谷市に勤務。

(妻) 埼玉県本庄市出身。20代。大学卒業後、埼玉県川口市に勤務。現在育休中。

Q3 移住を考えている方に、行田の魅力をお伝えください。
行田は、緑も多く、生活環境が非常に良いところだと思います。かといって買い物や地域の交通についても困ることは殆どありません。子育て支援も充実していて、これから出産・育児される方にはおすすめです。



移住定住コンシェルジュがご相談承ります！

行田市は、移住定住専門の相談員として移住定住コンシェルジュを配置しました。各種支援制度、子育て環境等、移住定住に関することは些細なことでもお気軽にお尋ねください。

ご相談は、電話、メール、窓口(オンラインも可能)にて受け付けております。

電話番号: 048-556-1111(内線335)
メールアドレス: iju@city.gyoda.lg.jp



移住定住コンシェルジュ
Instagram



イベント&スポット



忍城

関東七名城のひとつである忍城。戦国時代の終わりに、石田三成が行った水攻めにも耐えたことから、別名「浮き城」といわれ、映画化された小説『のぼうの城』の舞台となりました。



足袋蔵

行田市は日本一の足袋生産地として知られ、今でも足袋の倉庫「足袋蔵」が数多く残り、趣ある景観を形づくる“足袋蔵のまち”です。

写真は日本遺産の構成文化財の1つ「旧小川忠次郎商店店舗及び主屋(忠次郎蔵)」です。



さきたま古墳公園

5世紀後半から7世紀はじめごろにかけてつくられた9基の大型古墳が群集している公園で、令和2年度に国の特別史跡に指定されました。



行田花手水week

行田八幡神社を中心に、商店や民家の軒先に水鉢で季節の花々を美しく飾る行田花手水。毎月1日～14日の期間限定で開催しています(1・7・8・9月の開催はありません)。

ライトアップイベント「希望の光」

毎月1夜限定で「希望の光」をテーマにライトアップイベントも開催しています。



古代蓮の里

約1,400年から3,000年前のものとされる行田蓮(古代蓮)が6月下旬から8月上旬にかけて、42種類約12万株の花蓮が池一面に咲き誇ります。

世界最大の田んぼアート

7月中旬から10月中旬には、園内の古代蓮会館の展望室より、さまざまな種類の稲で描く田んぼアートを楽しむことができます。

